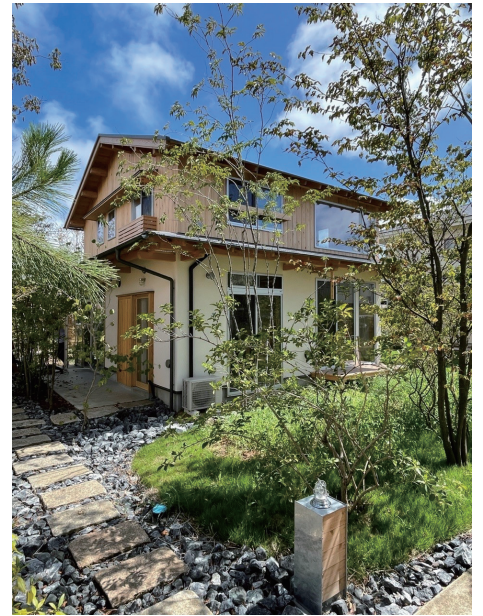


第16回 環境建築見学会

「ちっちゃい辻堂」

主催：（一社）東京建築士会
企画：（一社）東京建築士会環境委員会

環境建築のモデルとして建てられた建物の見学会です。
設計者・オーナー・外構設計者の解説を通して、環境負荷を軽減する手法を学び、建築設計での実践を目指します。



日時：2023年11月25日（土）
13:30～16:10

当日雨天の場合でも、屋外での説明があります。
その場合は、各自雨具の用意をお願いします。

場 所：神奈川県藤沢市辻堂元町（JR東海道線 辻堂駅徒歩13分）

定 員：25名（申込先着順：支払い時に申し込み完了）

C P D：2単位

参加費：会員、学生：2,500円、一般：3,500円
（資料代込み、交通費別途参加者負担）



「ちっちゃい辻堂 久根下」

3棟の平屋と2階建て1棟が寄せ集まり、その中心にはコモンスペースがあります。それぞれの建物がコモンスペースへ向かって開かれており、住まう方々が適度な距離感を保ちつつ、お互いの暮らしが垣間見え自然と声を掛け合えるような関係が生まれる暮らしの場を目指しています。

各住戸とも、コモンスペース側に玄関・キッチン・外にもつながる広めの土間をプランニングしています。

家庭菜園で育てた野菜をそのまま持ち込めたり、キッチン越しにコモンスペースで遊ぶ子供を見守れたりと使い方は様々に想像されますが、どう使うかは住まいてに委ねられるよう、作りすぎない余白を残した計画としています。

「ちっちゃい辻堂 出口」

出口は久根下から歩いてすぐの場所で、3住戸の長屋を計画しています。

2住戸は2階建て、1住戸は平屋です。

出口の特徴は南北に通り抜ける通路のような通り土間が住戸を貫いて計画されており、北側の玄関、キッチンと土間、菜園に面した南側の勝手口と庭を回遊でき、風の通り道にもなっています。

長屋は戸建ての良さと共同住宅の良さを兼ね合わせたような住まいなので、独立性を保ちつつも軒先で隣人と連なっているという自然に挨拶をかわしたくなるような距離感もあります。菜園や庭先を共有することによりここで生まれる関係性が楽しみです。



解説者



【設 計 者】山田 貴宏 氏

株式会社 ビオフォルム環境デザイン室 代表取締役
パーマカルチャーのデザイン手法を背景に住環境、建物とそれを取り巻く自然、コミュニティまで含めた幅広く繋がる場づくりと、地産地消、自然素材、木の家などをテーマに建築/環境設計を行う。



【オーナー】石井 光 氏

ちっちゃい辻堂 大家 会員制コミュニティ農園 EdiblePark茅ヶ崎 主宰
神奈川県藤沢市辻堂出身 地主の13代目
2020年から一年間「にここ農園」にて農家研修を修了、半農半大家として「ちっちゃい辻堂」をいちらから作っています。
一児の父で、子育てにも奮闘中。
株式会社五兵衛 代表取締役、一般社団法人 EdiblePark 湘南 代表理事も務める。



【外構設計者】岡部 真久 氏

クロマツプロジェクト代表 ランドスケープデザイナー

申込方法：下記URLまたは二次元QRコードより申込ページにアクセス頂き申込のお手続きをお願い致します。

〈URL〉 <https://kankyo1125.peatix.com>



■問合せ：（一社）東京建築士会事務局 担当：遠藤 TEL：03-3527-3100 E-mail：event@tokyokenchikushikai.or.jp

個人情報の取り扱い：本申込書に記載頂いた情報は適切に管理し、本セミナーの運営及び、東京建築士会が開催する他のイベントの案内・照会の為に利用する場合があります。